



一般財団法人

九州オープンイノベーションセンター

ネクストリーダー塾 ～DX&オープンイノベーションにチャレンジ～

参加者募集のお知らせ

令和2年9月2日

一般財団法人 九州オープンイノベーションセンター

ネクストリーダー塾 参加者募集中 !

**九州内の中小企業の皆様の競争力向上に向け、
DXへのチャレンジを支援する「ネクストリーダー塾」の参加者を募集します。**

デジタル・トランスフォーメーション (DX) を加速する機運が世界全体で高まっています。特に、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けたニーズ変化に対応するために、DXが今後の重要な成長戦略の一つとして注目を集めています。

しかし、特に中小企業においては、人間力に支えられてきた部分も大きいが故に、実際にDXの導入・活用ができている企業、実現しようとしている企業は少数であるのが現状のようです。

そこで、九州オープンイノベーションセンターでは、九州内の中小企業の皆様の競争力向上に向け、DX推進に向けたチャレンジを支援することを目的とした「ネクストリーダー塾」を実施します。

ネクストリーダー塾は、主に中小企業においてDX推進の要となる「経営層」や、「次世代を担うネクストリーダー層」を主な参加対象とし、御社がDXを推進する上で必要な「DX を活用したビジネスの発想力の習得」に資するカリキュラムを提供します。

参加は無料となっておりますので、DXに関心のある皆様のご応募、お待ちしております。

令和2年度 ネクストリーダー塾 募集要綱

1. テーマ

「DX（デジタルトランスフォーメーション）とオープンイノベーション」

2. 開催日時

- 第1回 10月2日（金） 14：30～17：30 （終了後、任意参加の塾生交流会あり）
第2回 11月20日（金） 10：00～18：00 （終了後、任意参加の塾生交流会あり）

3. 開催場所

九州経済調査協会 会議室（福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館 5階）

4. 定員

最大20名。1社2名までの応募が可能

※定員を超える応募があった場合、募集を早期に締め切るか、抽選等で人数調整を実施します。

5. ネクストリーダー塾の参加対象者

①中小企業の経営幹部や、次世代の経営を担うネクストリーダー層

②第1回と第2回の両方に参加可能な方

6. 参加費 無料（塾生交流会は会費制の予定）

7. 参加申込方法

以下のURLから応募。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd_MhcmWJmy_NWlYMb33-8UAC9-Kb8ZVBZy9z0sQL5LC3F7lA/viewform

8. 申込期限

令和2年9月16日（水）

【本件の問い合わせ先】

九州オープンイノベーションセンター TEL：092-411-7354（担当：木原）

※本ネクストリーダー塾の実施業務は、九州経済調査協会に委託しております。

【委託先】

九州経済調査協会 調査研究部 TEL：092-721-4905（担当：原口）



カリキュラム（予定）

令和2年10月2日第1回ネクストリーダー塾@九州経済調査協会会議室

14 : 30～15 : 00	開会挨拶
15 : 00～15 : 30	オリエンテーション&参加者自己紹介
15 : 30～17 : 30	講演「第四次産業革命が巻き起こす社会変革～デジタル時代のビジネスモデル～」 ➤ 九州大学大学院 経済学研究院産業マネジメント部門 教授 高田 仁氏
17 : 30～	終了後は交流会（任意参加）へ

令和2年11月20日第2回ネクストリーダー塾@九州経済調査協会会議室

10 : 00～12 : 00	「海外投資家が注目する日本の地域中小製造業」 ～DXの加速で『コロナショック』からの逆転と飛躍のチャンスをつかめ～ ➤ (株)野村総合研究所 主席研究員 藤野 直明氏、上級コンサルタント 梶野 真弘氏
13 : 00～14 : 00	講演「日米対比による日本の製造業におけるDX 戦略の方向性」 ➤ オフィス三宅 代表 技術マネジメントコンサルタント 三宅 賢治氏
14 : 00～15 : 00	講演「大企業におけるDX」 ➤ K-RIP（九州環境エネルギー産業推進機構） マネージャー 片山 雅弘氏
15 : 00～16 : 00	講演「中小企業でもできるDX」 ➤ 株式会社三松 代表取締役 田名部 徹朗氏
16 : 00～18 : 00	ワークショップ「中小企業におけるDX推進の課題とは」（仮） ➤ ファシリテーター：A Kビジネスデザイン 代表 川口 明宏氏
18 : 00～	閉会挨拶、終了後は交流会（任意参加）へ

講師プロフィール（１）

高田 仁氏（九州大学大学院 経済学研究院産業マネジメント部門 教授）

- ❖ 専門分野 産学連携マネジメント、技術移転、技術経営（MOT）、アントレプレナーシップ
- ❖ 略歴：九州大学工学部卒業後、大手メーカーに勤務。九州大学大学院工学研究科修士課程修了、コンサルタント会社にて学術研究都市やサイエンスパークなど地域計画の立案に従事。1999年から2002年まで(株)先端科学技術インキュベーションセンター（CASTI、現東大TLO）取締役副社長兼COO。2003年に九州大学ビジネス・スクール助教授。同年10月から2010年まで九州大学知的財産本部技術移転グループリーダーを兼務。2005年から2010年まで総長特別補佐。2007年九州大学ビジネス・スクール准教授。また、2009年から翌年まで米国MIT（マサチューセッツ工科大学）客員研究員。2010年より九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター兼務。2014年九州大学ビジネス・スクール教授。2015年4月～2017年3月産業マネジメント専攻長。

藤野 直明氏（㈱野村総合研究所 主席研究員）

- ❖ 略歴：早稲田大学理工学部物理学科（理論物理学）卒業／東京大学大学院先端学際工学専攻博士課程単位取得、早稲田大学大学院情報生産システム研究科客員教授／公益社団法人 日本経営工学会副会長、公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会 フェロー、オペレーションズマネジメント&戦略学会 理事／一般社団法人 システムイノベーションセンター 実行委員会委員
ロボット革命イニシアチブ協議会WG1（第4次産業革命推進WG）情報マーケティングチーム・リーダー
日本小売業協会CIO研究会ステアリングコミティメンバー／J R東日本モビリティ変革推進コンソーシアム ステアリング委員会委員
著書に「小説 第4次産業革命 日本の製造業を救え！」（共著）など

梶野 真弘氏（㈱野村総合研究所 上級コンサルタント）

- ❖ 略歴：東北大学大学院工学研究科博士課程前期原子核工学修了。企業への伴走型業務改革のコンサルティング、産業振興・第4次産業革命に関する調査研究・コンサルティングに従事。中小企業～大企業を含め、主要業種をカバーする250箇所以上の製造業工場を訪問。著書に「電子決済ビジネス」「企業通貨マーケティング」（共著）など

講師プロフィール（２）

三宅 賢治氏（オフィス三宅 代表 技術マネジメントコンサルタント）

- ❖ 略歴：九州工業大学工学部卒業後、外資系企業へ入社し、国際IT戦略構築やアジア太平洋地域工場の自動化システム統括責任者など、数々の多国籍技術チームマネジメントを歴任。その後、中小企業に転職。学位は山口大学理工学研究科博士課程後期で取得。定年後は、専門の技術経営の分野でコンサルティング活動を実施。DXの関係では、外資系の多国籍企業（米国に本社を持つ製造業界の企業）で社内ITシステムの開発に携わっていた経験から製造業における近年のDX（デジタルトランスフォーメーション、以下DX）についての課題を踏まえたDX戦略の方向性を提唱している。
- ❖ その他：一般社団法人日本電子デバイス産業協会（NEDIA）理事
・九州NEDIA副代表・福岡大学大学院 工学研究科 非常勤講師
・半導体製造技術国際会議(ISSM)とAEC/APC Symposium Asia プログラム委員

片山 雅宏氏（K-RIP マネージャー）

- ❖ 略歴：IBM/レノボ/IDC/ KPMGにて、液晶開発、マーケティング、ビジネス企画、アナリスト、コンサルティングの経験を重ね、特にデジタルトランスフォーメーション（DX）については10年以上の経験をもつ。近年は、デザインシンキングの手法を用いて大手の商社、銀行、製造業などでDX推進を支援している。

田名部 徹朗氏（㈱三松 代表取締役）

- ❖ 略歴：1964年、福岡県生まれ。早稲田大学政経学部を卒業後、三菱重工に入社。お台場・横浜・幕張の湾岸再開発や、廃棄物プラントの営業を経験。その後、シティバンクに7年間勤務し、公開企業経営者の資産運用業務を行う。60歳でハワイに移住することを夢みながら、家業である株式会社三松に入社。2001年に常務取締役、2010年7月に代表取締役社長就任。

川口 明宏氏（AKビジネスデザイン 代表）

- ❖ 略歴：産学官連携コーディネーター歴12年。大学、企業への研究開発支援、新規事業開発支援、公的資金獲得支援等のビジネスデザインに関する業務を実施している。また、九州大学大学院芸術工学府にて、デザイン思考、インクルーシブデザインの研究を実施している。

ネクストリーダー塾における感染症対策へのご協力のお願い

ネクストリーダー塾では、人脈形成も目指していることから、感染症対策を徹底した上で、対面による開催を予定しております。

しかし、新型コロナウイルスの流行状況によっては、やむを得ず、ウェブ会議への参加に切り替える場合がございます。

また、対面で開催する場合でも、参加者の皆様の安全を期すべく、3密対策や適宜の換気等を実施します。

参加者の皆様におかれましても、必ずマスクを着用の上、ご参加いただくこととなります。

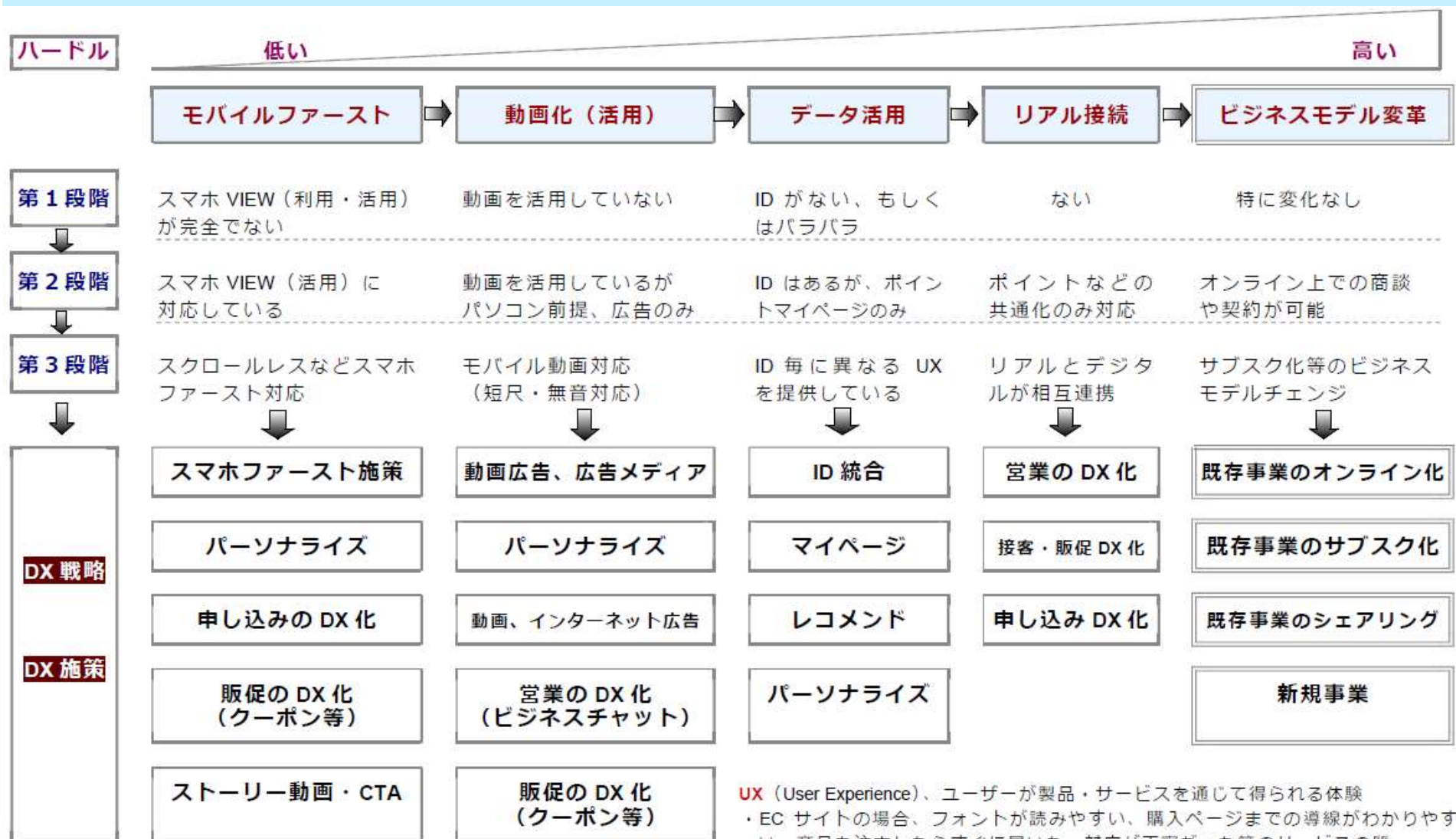
なお、37.5度以上の発熱のある方の出席はご遠慮をお願いいたします。

以上について、ご協力いただけましたら幸いです。

参考資料～DXで何を変革するのか



参考資料～DXの実践例



CTA(Call To Action)：Web 上のユーザーに行動を喚起（とってもらいたい行動）させるためのテキストや画像のデザイン

ビジネスチャット：テキストベースのチャット、ウェブ会議機能、従業員の進捗状況を管理・共有するタスク管理機能

レコメンド（recommend）：利用者の購入履歴等を情報を分析し、適切な物品やサービスを絞り込んで推薦する販売手法戦略

UX（User Experience）、ユーザーが製品・サービスを通じて得られる体験
・EC サイトの場合、フォントが読みやすい、購入ページまでの導線がわかりやすい、商品を注文したらすぐに届いた、対応が丁寧だった等のサービスの質

出所：DX 入門

九州オープンイノベーションセンター（KOIC）について

KOICは、オープンイノベーションの導入や実践を支援するプラットフォームとして、オープンイノベーション手法を活用し、新製品・サービスやビジネスモデルの開発、それらを利用した新事業の創出を目的として、「世界のイノベーション地域との交流する場」、「ニーズ・シーズを探索し、事業化する場」、「異業種が交流し、新事業を創出する場」、「大学のシーズを起業化する場」、「市場と価値を創る人材を育成する場」、「九州の戦略産業を振興する場」など6つのオープンイノベーションの場（機能）と動かす事業や仕組みにより、九州の新事業の創出をコーディネートして、イノベーションを進めます。

